

地域みらい図ワークショップ

～地域の未来をみんなの手で～

～鎌倉市鎌倉地区③(第3地区社協) レポート～



実施日程：令和7年（2025年）7月12日（土） 場所：福祉センター第1・2会議室 参加者：19名

主催

鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会



ワークショップのねらい

地域には、子育て、高齢者の見守り、障害のある子どもや大人のサポート、移動の不便さ、近所づきあいの変化、地域行事の継承など、さまざまなニーズがあります。こうした「くらしの課題」は、市だけで解決するのではなく、住民同士の支え合いや公的な制度・支援とも連携しながら、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

そこでワークショップでは、いろいろな立場の人が「この地区で、これからどんなふうに暮らしたいか」から出発し、数年後のまちの様子を具体的に描きました。住民の関わり方の選択肢が広がり、役割を無理なく分かち合える地域づくりにつながることを、ねらいとしました。

地域の見守りや行事の運営は、一部の人に役割が集中しやすく、「このままだと続けるのが大変」という声もあり、地域の課題として「担い手不足」が語られがちです。

一方で、「担い手不足」を強く打ち出すと、地域への参加が責任や負担を伴うものとして受け止められ、新しく関わる人にとってハードルが高くなることがあります。

そのため今回は、役割の話から入るのではなく、地域で大切にしたい暮らしのイメージや、一人ひとりの思いを語り合うことを大切にしました。

実施内容

当日は、次の2つのステップで進めました。

- ・「いま」と「これから」の意見交換（困りごと・大事にしたいことの共有）
- ・地域みらい図づくり（架空の地図に、鎌倉地区③（第3地区社協）のどこかをイメージしながら、場所・人の動き・そこで交わされる会話・うまれる関わりなどを、イラストや文字で描いてみる）

地域の課題は抽象的なことも多いため、いまの暮らしを出発点に、数年後の地域で見たい景色や場面を描くことで、「どんな地域を目指したいか」「そのために何が大切か」を、共有しました。

鎌倉地区③（第3地区社協）で描く「未来の風景」（地域みらい図より）



※紙面の都合で、地域みらい図は代表例のみ掲載しています。どのグループからも大切な意見をいただきました。いただいた内容は別途取りまとめ、今後の検討に活かしていきます。



鎌倉地区③（第3地区社協）で描く「未来の風景」（地域みらい図より）

○未来の風景①：夏祭りや神社をきっかけに、世代を超えてゆるくつながれる

- ・夏祭りや神社の行事が、子どもから高齢者までが自然に集まり、顔を合わせる機会になっている。
- ・行事に参加する人だけでなく、見に来る人、少し手伝う人も含めて、地域との関わりの入口が広がる。
- ・こうした地域行事が、顔の見える関係や、安心して暮らせる地域の土台になる。

○未来の風景②：青空麻雀のような、日常の中のたまり場がある

- ・青空麻雀やベンチまわりなど、目的が強すぎない場で、ゆるく集まり話せる。
- ・「今日はどこに行こう」「コストコ行くよ、買って来る？」のような何気ないやりとりが生まれる。
- ・一人でもふらっと立ち寄れ、気軽に人とつながれる場が、まちの中に点在している。

○未来の風景③：外で過ごしやすい工夫が、見守りや支え合いにつながる

- ・有料トイレや水飲み場、買い物しやすさなど、外で安心して過ごすための環境が整っている。
- ・高齢者、親子、学生、車いす利用者など、さまざまな人が無理なく地域の中を行き来できる。
- ・ごみ拾い、花植え、散歩、声かけなど、小さな関わりが積み重なり、見守りや助け合いにもつながる。



鎌倉地区③（第3地区社協）の様子

問 地域福祉の活動を促進するために必要なことは何だと思えますか。（○は5つまで）

区分	回答者数	参加内容の活動	一人でも気軽に	定間参加しやすい	と両立できるよ	動キ自	がに地	や活動	に新情	トやS	公式ウ	情報提
全体	1,521人	47.8%	40.7%	34.3%	16.4%	27.4%	18.5%	20.4%	20.4%			
第三地区	153人	49.7%	35.9%	30.7%	13.7%	34.6%	20.3%	21.6%	21.6%			

資料：鎌倉市の地域福祉に関するアンケート調査（アンケート調査より一部抜粋）

メッセージ

【市】

ワークショップやアンケートで見えてきたことをもとに、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに活かしていきます。これからも地区ごとに対話の場を続けます。一人でも、途中からでも、話すのが得意でなくても大丈夫です。ぜひ、気軽にご参加ください。

【鎌倉市社会福祉協議会】

市社協は、地区の活動や身近な相談の場に日常的に関わっています。住民の皆さんのアイデアが無理なく地域住民の主体的な取組につながるよう、地区社協や地域のみなさまとともに進めていきます。

【川上富雄先生（鎌倉市や市社協の計画づくりに長く関わってきた大学教授）】

地域づくりに、正解は一つではありません。だからこそ、いろいろな立場の声を集め、未来の暮らしを具体的に描くことに意味があります。こうした話し合いが、これからの地域づくりにつながることを期待しています。

【連絡先】

鎌倉市健康福祉部福祉政策課 地域福祉担当

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21

T E L 0467-23-3000（代表）

T E L 0467-23-1075

